

TAIMS 下水道施設管理システム(タブレット版)が『長野県下水道 BCP 図上訓練』に活用されました

2016/01/21

このたび、下水道施設被災を想定した全国初の合同訓練『長野県下水道 B C P 図上訓練』(国土交通省・長野県・長野市・千曲市、公益財団法人日本下水道新技術機構)が実施されました。

千曲市様では、弊社のタブレット版-TAIMS 下水道施設管理システム(G I S)を用いて、被害情報を整理し、緊急措置の検討が行われました。

- ①情報収集(集約)、被災場所を把握
…被災場所の検索、記録など
- ②下水道施設の状況確認
…管路布設状況・人孔地盤高、液状化・重要管路(緊急輸送路)・流域下水道との接続状況・避難所(マンホールトイレの設置)など
- ③影響範囲の想定
…上下流検索機能により影響範囲・規模(管路延長や公共桝戸数など)を想定、記録など
- ④対応方針を検討、調査班への指示、応援要請など
…ポンプ・発電機・バキュームカーの手配など
- ⑤被災状況の報告
…被災範囲図・リスト作成・対処方法の記録など



検索・作図・集計・空間解析等の機能を使い迅速な対応やまとめができ、そのシステム機能が実証され、参加した市町村からの問合せが多かったことから、被災状況把握や応急対策検討時におけるタブレット版-下水道施設管理システム(G I S)の活用に対する期待と関心の高さがうかがえます。